



加東市マスコットキャラクター
加東 伝の助



the 10th
anniversary

加東市制10周年
記念事業要覧

新しいステージ加東
ふみ出そう 未来へ





加東市制10周年
記念事業要覧

新しいステージ加東 ふみ出そう未来へ



ごあいさつ



加東市制 10 周年記念事業実行委員会委員長 佐々木 正利（ささき まさとし）

市制施行 10 周年という大きな節目に当たり、この記念すべき 10 周年を盛り上げるべく開催しました記念事業が大成功に終わり、ご協力いただきました皆様の力強い後押しもあって、加東市の持つ伝統や文化、素晴らしい魅力を十分に発信できたと感じています。また、記念事業が、加東市の未来を担う子どもたちにとって、ふるさと加東への誇りや愛着を醸成する機会の一助となっていることを期待しています。

この要覧は、記念事業の取組を未来へ伝承していくために、多くの方々のご協力とご努力のもと創り上げられた内容を綴ったものとなっております。未来へ向かって大きく飛躍しようとする元気な加東市の姿を感じていただければありがたく存じます。

最後に、記念事業にご参加いただきました多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、携わっていただいた関係者の方々に、心からお礼を申し上げます。



加東市長 安田 正義（やすだ まさよし）

加東市が平成 18 年 3 月 20 日の誕生から 10 周年を迎えることができましたのも、ひとえに、先人のたゆまぬ努力と、市民の皆様の格別なご理解とご協力の賜物であると、心から感謝申し上げます。

この 10 年間は加東市が新たなステージへとステップアップするための土台づくりでした。合併という大きな変化により様々な課題がありましたが、市民の皆様との協働による取組により、それら一つひとつを乗り越える道筋をつけることができました。また、10 周年記念事業を通して、市民の皆様の大きなご支援・ご協力のもと、オール加東で本市の 10 歳をお祝いすることができました。

まちづくりはひとづくり。これまでの取組による成果を礎にしながら、ふるさと加東への誇り、より一層の市民相互の融和、一体感を醸成し、未来を支える活力づくりに向けて、新たなステージを着実に歩んでまいります。

次の 20 年、30 年に向けて、加東市の更なる発展を図るため、今後とも引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、記念事業の実施に尽力いただきました加東市制 10 周年記念事業実行委員会の皆様に心から感謝の意を表するとともに、一層のご活躍を祈念いたします。

目 次

01－02 事業全体の概要

03－04 市制 10 周年記念式典

05－14 加東のたいこ屋台大集合！

15－22 輝く加東！冬の祭り

23－30 大相撲加東場所

31－32 山田錦乾杯まつり、市制 10 周年記念講演会、

東条山田錦の里探訪ウォーク

33－34 シティセールス事業

35－36 たびーら SAKURA & SWEETS RIDE in かとう

37－38 加東市消防団×(meets)イザ！カエルキャラバン！ in かとう

39－40 特別展「加東市の文化財」

41 人権啓発講演会

42 兵庫県川柳祭 in 加東

43－44 輝く加東 10 年のあゆみ

45 加東市制 10 周年記念事業実行委員会委員名簿



◆テーマ

新しいステージ加東 ふみ出そう未来へ

◆目的・ねらい

加東市は平成 28 年 3 月 20 日に市制 10 周年を迎えました。市制 10 周年をひとつの大きな節目として、先人のこれまでのまちづくりに対して敬意を表するとともに喜びを分かち合いながら、子どもたちが夢を育み笑顔あふれる新たなステージ「加東」に向けて、市民と共に協働して取り組んでいくためのふるさとを愛する心や、まちづくりへの活力を結集する機会として、市制 10 周年記念事業を実施しました。

◆ロゴ



このロゴは、先人たちが築いてきたつながりの輪と市制 10 周年を市の特産である山田錦のお米 10 粒で表現しており、市民の皆様との協働の取組により輪が更に強固なものとなるよう、また、輝かしい加東の未来に向かって山田錦の稲穂のように加東市が大きく成長するよう願いを込めています。

◆市制 10 周年記念事業・応援事業

主な市制 10 周年記念事業

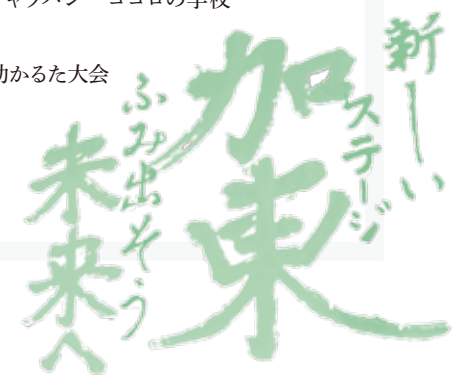
- 加東のたいこ屋台大集合！
- 輝く加東！冬の祭り
- 大相撲加東場所
- 山田錦乾杯まつり、市制 10 周年記念講演会、東条山田錦の里探訪ウォーク
- シティセールス事業
- たびーら SAKURA&SWEETS RIDE in かとう
- 加東市消防団 × (meets) イザ！カエルキャラバン！in かとう
- 特別展「加東市の文化財」
- 人権啓発講演会
- 兵庫県川柳祭 in 加東

その他の市制 10 周年記念事業

- かとう手話フェスタ
- 加東市秋のフェスティバル
- 加東市花と緑のまつり 花き盆栽展
- 加東市スポーツ賞表彰式・講演会
- 加東伝の助マラソン大会
- 加東文化振興財団主催事業
 - ・十朱幸代朗読劇「華岡青洲の妻」
 - ・黒木姉妹 歌謡コンサート
 - ・草笛光子朗読劇「白い犬とワルツを 私は白い犬」
 - ・第九特別演奏会 歓喜の歌が街に流れるとき
 - ・バボラーク・モーツァルト・プロジェクト
 - ・山崎バニラとこども弁士の活弁大絵巻

市制 10 周年応援事業

- 社吹奏楽団 2016 春 ファミリーコンサート
- 第30回やしろ水泳選手権大会 兼 第15回東播地区招待高等学校水泳競技大会
- 第 60 回兵庫県高等学校体育連盟総合体育大会
- アーチェリー競技会
- サマーエンデューロード in はりちゅう
- 加東伝の助杯 フットサル大会
- 第 32 回緑の回廊囲碁大会
- OTTY 故郷プロジェクト 2016
- 加東市子ども会育成連絡協議会 第 10 回親善ドッジボール大会
- コスミックプラスアンサンブル 第 1 回コンサート金管楽器の華麗な響き
- ワークショップ：野菜が楽器に…？野菜をもって、全員集合 野菜でクラリネット？？十亀正司コンサート
- 兵庫県健康大学講座
- 木下千代 ピアノ・リサイタル～ショパンとラヴェル バリの精華～
- アンサンブル・リリ コスミックホールに舞い降りたミュージタたち
- 第 1 回日本語スピーチコンテストとモンゴル音楽のつどい
- 第 1 回加東市水泳選手権大会兼加東市総合体育大会
- ふれあい親子つり教室 海釣り大会
- 第 11 回東条コスモス杯ゲートボール大会
- 第 10 回加東市民剣道大会
- 平成 28 年度加東市文化連盟祭
- 第 25 回自衛消防競技大会
- 平成 28 年度オセロ大会
- 加東混声合唱団&加東フィルハーモニー管弦楽団第九特別演奏会
- 第 39 回東はりまみんよう大会
- 第3回加東市童謡唱歌まつり
- リニューアルオープン記念・道の駅とうじょう「大感謝祭」
- 滝野シンフォニックバンドクリスマスコンサート
- 第 29 回加東市民ゴルフ大会
- NHK 交響楽団第 1 コンサートマスター篠崎史紀ヴァイオリンリサイタル
- 第 7 回加東市長杯ジュニア空手道選手権
- チャレンジリーグ 2017 スプリングエンデューロード in はりちゅう
- 第9回芸能発表会
- あそぼうよ！ひょうきょうっ子ランド！
- 谷村新司トーク&ライブキャラバン ココロの学校
- 山本浩之講演会
- 第 6 回あったか加東伝の助かるた大会



平成28年
3月20日



市制10周年 記念式典

平成18年3月20日に社町、滝野町、東条町の3町が合併し、「加東市」が発足してから10周年を迎えました。この記念すべき年を皆様とともに祝い、加東市の更なる発展に向け、「市制10周年記念式典」を開催しました。「新しいステージ加東 ふみ出そう未来へ」の記念テーマを社高校書道部のみなさんが揮毫するパフォーマンスビデオから始まり、国歌斉唱・市民憲章朗唱などの後に、よりよいまちづくりに貢献された72の個人・団体の方々へ、市政功労表彰・善行表彰・感謝状をお贈りしました。

式典の締めくくりには、参加者全員で市応援歌「勇躍加東」を合唱し、輝く加東の更なる発展を誓いました。

- 参加者数
400人
- 場所
やしろ国際学習塾



社高校書道部の気持ちのこもったパフォーマンスとあいさつ



まちの一体感の更なる醸成へ 市民憲章朗唱



加東市政の発展などに貢献いただいた方々への表彰



更なる飛躍を遂げる
新しいステージへ



●式典概要

- オープニング
新しいステージ加東への期待を込めて
～社高校書道部書道パフォーマンスビデオ～
- 開式
- 国歌斉唱
- 市民憲章朗唱
- 式辞
- あいさつ
- 表彰
市政功労表彰
善行表彰
感謝状贈呈
- 来賓祝辞
- 市制10周年記念ビデオ
「新しいステージ加東 ふみ出そう未来へ」
- 「勇躍加東」合唱
- 閉式

平成28年
10月30日



加東の たいこ屋台大集合！

さわやかな秋晴れの空の下、市内の太鼓屋台 8 台が集結する「加東のたいこ屋台大集合！」を開催しました。社 上組、社 下組、上中地区、東古瀬地区、牧野地区、上滝野地区、新町地区、高岡地区の 8 団体が参加し、各太鼓屋台の個性的で迫力のある練りをはじめ、太鼓屋台が一斉に練り合う総練りを披露しました。

また、体験コーナーとして、社 上組、社 下組による太鼓屋台引き体験を行い、参加した大勢の子どもたちが歓声を上げていました。

それぞれの掛け声や歌とともに、青空へ向かって差し上げられる各太鼓屋台に、訪れた観衆は大きな拍手を送っていました。

●参加団体

オープニング 和太鼓 夢工房

太鼓屋台 社 上組、社 下組、上中地区、
東古瀬地区、牧野地区、
上滝野地区、新町地区、
高岡地区 8 団体(太鼓屋台 8 台)

コスモス神輿 兵庫教育大学・社高校有志の皆様

●来場者数

14,200 人

※加東市秋のフェスティバル 2016 来場者との合計

●場所

加東市役所 庁舎南駐車場



●イベント概要

- オープニング
- 太鼓屋台入場
- 開会セレモニー
- 参加団体(太鼓屋台)の紹介・練り
- 太鼓屋台引き体験
- 記念撮影
- コスモス神輿(女性神輿)の披露
- 太鼓屋台総練り
- 閉会、太鼓屋台退場



史上初！加東市内の太鼓屋台が大集合！





高岡地区



牧野地区



上滝野地区



新町地区

集合場所の社・銀座通りを目指して巡行



東古瀬地区



上中地区



社 上組



社 下組



the 10th anniversary

社・銀座通り(みなと銀行前の通り)に集合

会場へ向け、太鼓屋台が大移動



入場を待つ太鼓屋台(オリンピック通り)



オープニングを飾った、和太鼓 夢工房の力強い演奏

参加太鼓屋台（団体）の紹介・練り



社 上組

社上組の太鼓屋台は、江戸末期に作られ高砂の曾根から明治時代に購入しました。前後の梵天はシャチで、水引幕は「龍の珠取り図」が刺繍され、龍の胴体は見事な一枚鱗で仕上げられています。提灯の龍も特徴的で、龍頭を上から見た構図となっています。狭間の彫刻は三代目黒田正勝と花岡義一の作です。大規模な屋台修理が完了し、勇姿が甦りました。



社 下組

社下組の太鼓屋台は、社二区本町1丁目、社四区、社五区の氏子により今日まで伝統を引き継ぎ、守っています。明治38年に初代の、昭和10年に二代目となる現在の太鼓屋台を購入し、平成14年に大規模改修を行い、装飾金具などに鍍金加工を加えて再利用し、高欄掛の取付け、水引幕の新調などを行いました。布団張りを深みある明るい赤色、天幕には、佐保神社の紋章である「重ね三階菱」を配しています。



上中地区

上中地区の太鼓屋台は、昭和8年に姫路白浜村で製作された反り屋根型布団屋台です。提灯と水引幕は加東市東古瀬の三代目絹常の作であり、水引幕の図柄は佐々木高綱と梶原景季の宇治川先陣争いの雄姿です。また、狭間は三代目松本義廣の逸品であり、随所に匠の技が光っています。



東古瀬地区

東古瀬地区の太鼓屋台は、「東古瀬の祇園さん」として、東古瀬地区100戸で代々継承しています。7月の第2土曜日に地元の八坂神社で奉納しており、夜の境内で伊勢音頭に合わせて勇壮に練り歩いています。梵天は正面と背面に海老、左右に鷹、名匠の手による狭間を四面に配し、屋提灯に八坂神社の祇園守紋、水引幕は地元、絹常作の「須佐之男命八岐大蛇退治」をあしらっています。当イベントでは、初めて女性がはやし役を務めました。



上滝野地区

上滝野地区の屋台太鼓は、「布団屋根屋台太鼓」といわれ、北播地区において類のない大きさの布団屋台です。四方へ弓型にせり出した屋根には、太いねじり結びの金綱が龍の水引とともに屋台に重量感を持たせ、屋根を支える垂木の先には珊瑚の装飾、四方の欄間には荘厳な彫刻が施されています。骨組には紫檀、黒檀、鉄刀木など、堅く重い木材が使われており、総重量は2トンの、豪華絢爛かつ勇壮な「布団屋根屋台太鼓」で、次世代へ引き継ぐ宝物です。



新町地区

新町地区の太鼓屋台には80年以上もの歴史があり、五穀豊穡を祝い、毎年、佐保神社の秋祭りで奉納しています。神前で、「サッシマセ」の掛け声により、力強く太鼓屋台が差し上げられた瞬間、一体感と不思議な高揚感に包まれます。また、太鼓屋台は、故郷を遠く離れた人々を呼び戻す力があり、今後も、地区の心の拠り所として存在し続けるものと確信しています。

高岡地区

高岡地区には、町組、北東組、北西組と3台の太鼓屋台があります。これらの太鼓屋台を今の世代まで継承してくれた先人に感謝し、高岡稲荷神社の秋の大祭では、3台の太鼓屋台が神社に集結し、練り合わせ、五穀豊穡を祈り奉納しています。このたび、これら3台の中から、代表して北東組の太鼓屋台を「高岡組」と設え参加しました。



牧野地区

牧野地区の太鼓屋台は、昭和4年に加西市北条町古坂から購入し、平成11年に高欄から下部を新調しました。狭間から上部は古いものが残っており、狭間には源平合戦の「一の谷の合戦」のシーンが施され、斗組は出組みで、垂木は下方向に伸びるなど古格がある形状をしています。牧野地区は、源頼政が「鶴」退治により帝から賜った土地とされ、今も秋祭りとともに歴史的な伝統を守り続けています。



大勢の子どもたちの歓声！ 太鼓屋台引き体験



イベントに華を添える コスモス神輿（女性神輿）



初共演！ 太鼓屋台総練り



平成28年
12月17日
～24日



輝く加東！冬の祭り

合併のシンボルである庁舎をより身近に感じていただき、市民相互の交流を図るイベントとして、「輝く加東！冬の祭り」を開催しました。

イベントの始まりとして、色鮮やかなイルミネーションを設置し、氷を使わないスケートリンク「つるりん加東」がオープン。転びながらも楽しそうに滑る子どもたちの歓声は最終日まで止むことがありませんでした。

イベントのメインとして、庁舎をスクリーンに、立体映像を楽しむ3D プロジェクションマッピング「HEART BEAT KATO - 未来へつなぐメッセージ-」を実施しました。釣り針・鯉のほりをはじめとした特産品や伝統芸能、観光名所など、加東市が誇る数々の魅力を表現した映像と音楽に会場は惜しみない拍手に包まれました。

そのほかにも、市民の皆さんがダンスやバンド演奏などを発表するステージイベント、北播磨広域定住自立圏連携事業として、神姫バス株式会社協力によるバス乗車体験を開催。全日を通して、家族連れを中心に大賑わいとなり、加東の魅力が存分に味わえるイベントとなりました。

- 来場者数
10,000 人
- 場所
加東市役所 庁舎南駐車場、
ヤシロメモリアルガーデン



● イベント概要

内 容	日 程	12月 17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
つるりん加東									
イルミネーション									～1月31日
3D プロジェクションマッピング 「HEART BEAT KATO - 未来へつなぐメッセージ-」 市民活動発表ステージ ふわふわスライダー 飲食店ブース									
バス乗車体験									



兵庫教育大学吹奏楽部の演奏（市民活動発表ステージ）



心も体も温まる多種多様な飲食店ブース

あふれる輝き まちのぬくもり



将来は運転手に♪バス乗車体験



大迫力の3D プロジェクションマッピング



滑って、転んで つるりん加東

転んでも濡れない 氷のないスケート
つるりん加東



子どもたちの楽しそうな笑顔♪



最初は転んでも、みるみる上達

イベントを盛り上げる サンタ姿の加東 伝の助も登場！



日頃の成果を！ 市民活動発表ステージ



寒さを吹き飛ばす元気なダンス



心温まる歌や演奏



光り輝く イルミネーション



メモリアルガーデンにきらめく光の花々

おなじみのオレンジ色の大きな車！ バス乗車体験



普段は座れない運転席に満面の笑み♪



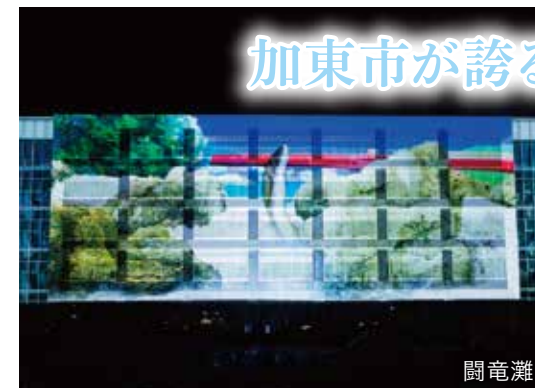
HEART BEAT KATO
ー未来へつなぐメッセージー



朝光寺鬼追踊の鬼



上鴨川住吉神社 神事舞リョサン舞



闘竜灘



特産品・鯉のぼり

加東市が誇る多彩な魅力



特産品・ひな人形



明るい未来へ 子どもたちのあふれる笑顔

平成29年
4月4日^火



大相撲加東場所

市制 10 周年記念事業の最後を飾る催しで、大相撲の春巡業として、「大相撲加東場所」を開催しました。満員札止めとなった会場で、力士約 150 人が力のこもった稽古や取組を披露しました。

大迫力の取組のほか、禁じ手などを面白おかしく演じる『初切』や、逸ノ城・妙義龍・遠藤といった人気力士が子どもたちに稽古をつける『ちびっこ相撲』など、盛りだくさんの内容でした。

張り詰めた緊張感の中で行われた横綱の土俵入りでは、四股に合わせて「よいしょ」と大きなかけ声が上がっていました。

横綱鶴竜が関脇玉鷲を寄り切った結びの一番で、巡業の全取組が終了。打ち出し後、興奮冷めやらぬ表情で帰路につく来場者から、催しが大成功であったことがうかがえました。

● イベント概要

- 開場～公開稽古
- ちびっこ相撲
- 幕下以下の取組開始
- 初切
- 相撲甚句
- やぐら太鼓打分
- 十両土俵入り
- 十両取組
- 幕内・横綱土俵入り
- 幕内取組
- 弓取り式
- 打ち出し

● 来場者数
1,685 人

● 場所
滝野総合公園体育館
「スカイピア」



有名力士との握手会
サインにも快く応じる北碓磨関



呼出の拍子木の音が響き渡る



地方巡業ならではの内容も

憧れの力士が加東に！大相撲春巡業



幕内による迫力のある取組



加東で34年ぶり！大相撲加東場所



テレビでは見られない力士の姿も



床山に長い髪を結ってもらう力士
後ろでは弓取り式の練習も



取組の前に腹ごしらえ



交通安全・防犯キャンペーンにも協力



技に更なる磨きを 公開稽古





お相撲さんと勝負! ちびっこ相撲



禁じ手を面白おかしく紹介! 初切



独特の節回し 相撲甚句



小気味よい響き やぐら太鼓打分



子どもを抱っこしながら土俵入りする力士も



勇ましい立ち姿 幕内土俵入り

力強い振る舞い 十両・幕内・横綱土俵入り



土俵入りの所作



威風堂々 庄巻の横綱鶴竜土俵入り



盛り上がりも頂点に 幕内力士の熱戦



横綱鶴竜、関脇玉鷲との結びの一番



興行の締めくくり 見事な弓取り式

平成28年
9月25日



山田錦乾杯まつり 市制 10 周年記念講演会 東条山田錦の里探訪ウォーク

加東市特産の酒米、山田錦を原料にした日本酒を楽しむ「山田錦乾杯まつり」を開催しました。会場には全国から集まった酒造会社 17 社のブースのほか、三草茶うどんや山国肉めしなどのご当地グルメ、日本酒に合う肴のブースが並び、参加した皆さんは、料理を楽しみながら飲む名酒に笑みを浮かべていました。また、市役所内では、京都の老舗料亭・菊乃井三代目主人村田吉弘さんによる講演会を開催。難解な印象を持たれがちな和食文化を、軽妙な語り口でわかりやすく説き、大きな拍手が送られました。恒例となった山田錦が実る田んぼを眺めて歩く「東条山田錦の里探訪ウォーク」では、とどろき荘から乾杯まつり会場までの約 11 キロを歩き、山田錦の穂波が美しいふるさとを堪能していました。

- 来場者数
4,300 人
- 場所
加東市役所前特設会場



市制 10 周年記念講演会

- 参加者数 219 名
- 演題 「日本酒と和食文化」の魅力を発信
～山田錦のまち加東から～
- 講師 菊乃井三代目主人 村田吉弘 氏

村田さんは NPO 法人「日本料理アカデミー」理事長として和食の無形文化遺産登録を提言し、2013 年に実現に導かれました。
講演では、無形文化遺産登録に尽力した経験などを踏まえ、日本料理の優れた点や継承の大切さを説かれました。



東条山田錦の里探訪ウォーク

- 参加者数 197 名
- コース
とどろき荘から加東市役所前特設会場までの稲穂が輝くのどかな風景を見ながら探訪する約 11 キロのコース



名酒で乾杯！山田錦生誕 80 周年祝う



平成28年
5月28日・29日

平成28年
10月1日・2日

ご当地キャラクターフェスティバル



シティセールス事業

～ご当地キャラクターフェスティバル in すみだ～
～すみだまつり・こどもまつり～

交流人口の拡大と賑わいを創出する観点から、首都圏での知名度アップ、情報発信の一環として、シティセールス事業を実施しました。忠臣蔵サミットで交流のある東京都墨田区が開催するイベントに参加し、来場者の皆さんに広く加東市をPRしました。伝の助応援隊との軽快なダンスや愛らしいグリーティング、市の紹介や伝の助グッズ、特産品を販売するブースの出店などを通して交流を深めました。



ご当地キャラクターの
仲間たちと



● イベント概要

■ ご当地キャラクターフェスティバル in すみだ

開催日 平成28年5月28日(土)、29日(日)
場所 大横川親水公園、東京スカイツリータウンソラマチひろば ほか
来場者数 12万人

- キャラクターパフォーマンス
- 全国各地のご当地キャラブース
- 地元商店街によるイベント
 - ・缶バッジラリー ・キャラクターコラボアイテム
- スタンプラリー
- 協賛企業ブース

■ すみだまつり・こどもまつり

開催日 平成28年10月1日(土)、2日(日)
場所 墨田区立錦糸公園、墨田区総合体育館 ほか
来場者数 29万人

- 各ステージ
- PRコーナー
- 模擬店・物産展
- こどもあそびコーナー
- こどもまつりパレード など

加東 伝の助 東京デビュー！



スカイツリーに負けない大物に！



東京でも人気者♪

平成28年
4月9日^土



たびーら SAKURA&SWEETS RIDE in かとう

市制 10 周年記念事業の第 1 弾として、「たびーら SAKURA&SWEETS RIDE in かとう」を開催しました。このイベントは、千鳥川や東条川、やしろ鴨川の郷などの桜の名所や観光施設を自転車で巡りながら、三草茶うどん・やしろの桃ジェラートといった名物を味わう企画で、近畿地方をはじめ、中国・四国地方から多くのライダーが集まりました。参加者は、経験にあわせて 13 のグループに分かれ、市内約 60 キロのコースを楽しみながら、加東市の誇るグルメに舌鼓を打ちました。

●参加者数
104 人



● イベント概要

- 開会式・ライダーズミーティング
- 各グループごとに順次スタート

コース概要

滝野にぎわいプラザ
千鳥川桜堤公園 (伝の助サブレ)
朝光寺 (三草茶焼まんじゅう、播州クリームパン)
道の駅とうじょう (山田錦せんべい)
とどろき荘 (三草茶うどん、巻きずし)
やしろ鴨川の郷 (やしろの桃ジェラート、どら焼き)
やしろ国際学習塾 (プリン、マドレーヌ)
閼竜灘
滝野にぎわいプラザ

○ゴール



播磨やしろ茶の茶畑



朝光寺

加東の名所満載！贅沢巡り♪



東条湖周辺の桜並木



やしろ鴨川の郷



平成28年
6月12日

the 10th anniversary



加東市消防団×(meets) イザ！カエルキャラバン！ in かとう

多種多様な防災体験プログラムを行い、子どもたちに楽しみながら防災知識を身に付けてもらうイベント「加東市消防団×(meets)イザ！カエルキャラバン！ in かとう」を開催しました。このイベントは、消防団の活動を広く市民に伝えるため、加東市消防操法大会と同時開催し、水消火器での消火体験、毛布を丸めた担架での搬送体験など、各コーナーの運営は、加東市消防団の皆さんに担当していただきました。イベントを楽しむ子どもたちの笑顔があふれる中で、消防団員の皆さんの親切な対応に、強く優しい加東市消防団の姿が伺えました。

●参加者数

800人

●場所

ヤシロメモリアルガーデン



毛布で人を運ぶ方法を学習
毛布で担架タイムトライアル



操法大会での力強い姿

●イベント概要

- かえっこバザール
- 防災体験プログラム
 - 水消火器での当てゲーム
 - 毛布で担架タイムトライアル
 - ジャッキアップゲーム
 - 応急手当ワークショップ
 - 家具転倒防止ワークショップ
 - おたま劇場
 - 紙食器づくり
 - 持ち出し品なあに？クイズ
 - 水害紙芝居
 - カードゲーム「なまずの学校」
 - 起震車体験
 - 土石流体験装置
 - 降雨体験装置「カッパくん」
 - 3D実験装置「びっくりくん」
 - アルファ化米の試食

楽しみながら防災学習



水害から身を守るための学習 水害紙芝居



土石流の怖さを実感 土石流体験装置



震度7の揺れを体感 起震車体験



おもちゃのオークションも かえっこバザール

平成28年
7月23日^土～
10月2日^日

the 10th anniversary



特別展 「加東市の文化財」

加東市発足後の10年間で取り組んだ文化財の調査や修理などの成果を広く知ってもらう特別展「加東市の文化財」を開催しました。本展では、この10年間で新たに市指定・県指定となった文化財を中心に仏像・絵画・工芸品・古文書・経典など、多様な文化財を展示。学芸員による各展示物の見所や、展示物から読み取れる地域の歴史などを説明し、加東市が長い年月をかけて培ってきた豊かな歴史を体感いただきました。

●観覧者数

605人(社会場 295人、滝野会場 212人、東条会場 98人)

●場所

やしろ国際学習塾、加古川流域滝野歴史民俗資料館、東条公民館



文化財の歴史的価値を学芸員が説明



加東の豊かな歴史を語る 100点

●展示資料(所有者)

- 絹本着色釈迦十六善神図(花蔵院)
- 木造獅子・狛犬(厚利地区)
- 木造天部立像(清水寺)
- 鉦鼓(中古瀬地区)
- 大般若経(馬瀬地区)
- 瑞柳院旧記(清水寺)
- 遍照院文書(遍照院)
- 銅椀(清水寺)
- 紺紙金字妙法蓮華経(清水寺)
- 播磨風土記(佐保神社、加東市)
- 河高・上ノ池遺跡出土祭祀土製品(加東市)
- 小丸山1号墳出土資料(加東市)
- 上滝野・宮ノ前遺跡出土資料(加東市)

をはじめ約100点



木造天部立像(写真右)



木造獅子・狛犬と秋津百石踊衣装

平成28年
7月3日



人権啓発講演会

身近な人権課題について理解を深め、日常の中で自らの行動に活かすことを目的に、「人権啓発講演会」を開催しました。講演会は、市内の小学校児童3人の人権作文の発表、アグネス・チャンさんを講師に招いた講演の2部制。アグネス・チャンさんの記念講演では、平和の大切さや人権に関する実体験を交えたお話があり、参加された皆さんは熱心に耳を傾けておられました。講演の最後には、手話を使った歌を歌い、満員の会場が一体となった素晴らしい講演会となりました。

●講演会概要

- 市内小学校児童による人権作文の発表
- 社会を明るくする運動メッセージ伝達式
- 記念講演
演題「みんな地球に生きるひと
～日本の国際化と子どもの未来～」
講師 アグネス・チャン氏

●参加者数

485人

●場所

やしろ国際学習塾



会場に生まれる一体感



人権への熱い思いを語る
アグネス・チャンさん

人権の大切さ、改めて



平成28年
12月4日



兵庫県川柳祭 in 加東

文化意識の高揚と創造の機会を提供するため、「兵庫県川柳祭 in 加東」を開催しました。この催しでは、事前に作品を応募し、審査を受ける「事前投句の部」と、当日に会場作品を提出する「当日投句の部」が設けられ、県内外から6,000を超える句が寄せられました。表彰式後に行われた受賞句の講評では、満員の会場の中、熱心にメモを取る来場者の姿が見られるなど、川柳文化の隆盛が感じられる機会となりました。

●開催概要

■アトラクション

組み体操「Hero」 泉保育園

■事前投句の入選者発表、表彰式

■入選作品講評

■当日投句の入選者発表、表彰式

●参加者数

300人

●場所

滝野文化会館



子どもたちの元気な掛け声
組み体操「Hero」



感慨深い思いを表現
事前投句表彰式

奥深い川柳の世界を体感



心を込めた川柳を 当日投句の部

輝く加東 10年のあゆみ



住みよいまちを目指して、一歩ずつ、着実に歩みを進めた加東の10年。
加東市は、これからも、更なる輝きを放つまちへと進化し続けます。

平成 18 年 3 月

9 月

9 月

10 月

平成 19 年 10 月

10 月

平成 20 年 3 月

4 月

4 月

7 月

11 月

平成 21 年 5 月

7 月

平成 22 年 4 月

平成 23 年 1 月

3 月

3 月

3 月

4 月

4 月

11 月

12 月

平成 24 年 3 月

3 月

6 月

8 月

8 月

10 月

10 月

12 月

加東市が誕生

合併記念式典を開催

のじぎく兵庫国体が開催（アーチェリーなど）

兵庫教育大学との連携協力に関する協定を締結

『世界に一つ! 加東遺産』（10 箇所）を選定

加東サンサンチャレンジ事業を開始

第 1 次加東市総合計画を策定

ケーブルテレビ市内全域放送を開始

市花がコスモス、市木がさくらに決定

市の音頭『加東よしよし音頭』と市応援歌『勇躍加東』が完成

公立社総合病院を加東市民病院に改称

加東市マスコットキャラクター・加東 伝の助が誕生

庁舎統合の検討を開始

兵庫県立人と自然の博物館との協力協定を締結

北播磨 3 市 1 町の消防広域化協議会が発足

浸水対応用の排水ポンプ積載車を導入

旧滝野庁舎（現北はりま消防本部）の駐車場に災害時用

耐震型貯水タンクを整備

やしろこどものいえ・わくわく棟が完成（増築）

加東市民憲章を制定

北はりま消防本部が発足

市制 5 周年記念式典を開催

忠臣蔵にゆかりのある全国の自治体が集まる『忠臣蔵サミット』を開催

加東市と兵庫教育大学が中心となり、教育・産業振興・健康づくり・子育て支援など、

あらゆる分野で連携する共同体『輝く加東まちづくりコンソーシアム』を設立

公共施設マネジメント白書を作成

星の里公園が完成

市役所新庁舎整備工事に着工

梶原幹線が全線開通

西日本高速道路株式会社と災害時の相互協力協定を締結

自主運行バス『米田ふれあい号』を運行開始

国宝朝光寺本堂の保存修理が完了

国道 372 号が市域全線開通



加東市誕生



加東市マスコット
キャラクター
加東 伝の助

加東 伝の助誕生



市制 5 周年
記念式典開催



国道 372 号開通

平成 25 年 3 月

3 月

3 月

3 月

4 月

6 月

8 月

9 月

10 月

10 月

11 月

11 月

12 月

平成 26 年 4 月

9 月

11 月

11 月

平成 27 年 2 月

3 月

3 月

6 月

7 月

9 月

9 月

10 月

11 月

平成 28 年 2 月

3 月

社中央公園ステラパークに災害時用耐震型貯水タンクを整備

日本レスキュー協会と災害救助犬・セラピー犬の派遣協力協定を締結

第 1 次加東市総合計画後期基本計画を策定

アフタースクール専用施設・東条東げんきクラブが完成

かとうまちかど体操教室事業を開始

県下初の『日本酒による乾杯を推進する条例』を制定

家庭ごみの少なさで県下 1 位を達成

JR 加古川線開業 100 周年記念事業を開催

山田錦乾杯まつりを初めて開催

南山地区内に災害時用の配水池を整備

鴨川地域の社中学校生徒・鴨川小学校児童と馬瀬地区の

三草小学校児童を対象にスクールバスの運行を開始

第 1 回キャラクターフェスティバル in かとうを開催

市役所新庁舎が完成

自主運行バス『きよみずバス』を運行開始

障害を持つ方の就労支援のための純米酒『なんでんの』が完成

加東サンサンチャレンジが厚生労働省の「第 3 回健康寿命をのばそう!

アワード」で、県下初の自治体部門優良賞を受賞

近畿圏の自治体で初めて、手話言語条例を制定

市公共施設に太陽光発電施設を設置

加西市と共に定住自立圏の中心市を宣言

市の最高峰の愛称が『加東神山』（かとうこやま）に決定

加東市オリジナルの婚姻届を作成

まち未来創生本部を発足

市内 5 企業と環境パートナーシップ協定を締結

公共施設の適正化に関する計画を策定

加西市と共に西脇市・多可町と定住自立圏形成協定を締結

病児病後児保育施設『かとおこ』が完成

小中一貫校の整備方針を決定

市制 10 周年記念式典を開催



市役所新庁舎完成



手話言語条例制定



定住自立圏形成協定締結



「かとおこ」完成

加東市制 10 周年記念事業実行委員会委員名簿



役 職	氏 名
委 員 長	佐々木 正利
副委員長	澤野 祥二
副委員長	藤井 信孝
監 事	中尾 克彦
監 事	下山 絹子
委 員	井上 綾乃
委 員	嶋橋 敬子
委 員	三木 康嗣
委 員	小松 志津雄
委 員	神戸 賢吾
委 員	友藤 富士子
委 員	山崎 美千代
委 員	白井 律夫
委 員	福井 茂樹
委 員	藤尾 祐那
委 員	神戸 靖則
委 員	吉田 秋広

順不同、敬称略

加東市制 10 周年 記念事業要覧

「新しいステージ加東 ふみ出そう未来へ」

平成 30 年 3 月

加東市制 10 周年記念事業実行委員会



—発行—

加東市制 10 周年記念事業実行委員会